

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	平成29年9月28日(木) 14:00～16:00
場所	沖縄県立図書館3階研修室
出席委員名	(9名) ①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員、 ④金城由美子委員、⑤呉屋美奈子委員、⑥安里恒男委員、 ⑦平井りい子委員、⑧又吉浩委員、⑨田中洋人委員
議題及び報告事項	1開会 2館長あいさつ及び委嘱状交付式 ・会長、副会長の選任 ・会長挨拶 3議事(報告事項) ①県立図書館についての説明と視察 ②県立図書館評価指標に基づく図書館評価について ③図書館イメージキャラクターについて 4委員の皆様から図書館へのご提言 5閉会
議事の概要	報告事項に対する質疑応答を行った。 委員からの質疑及び提言は議事録のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 桑江・亀島 電話 098-834-1218
備考	

平成 29 年度第 1 回沖縄県立図書館協議会 議事録

日 時 : 平成 29 年 9 月 28 日 (木) 14:00-16:00

場 所 : 沖縄県立図書館 3 階 研修室

出席者 : 9 名①望月道浩会長、②豊見山恵美子副会長、③與座博好委員、
④金城由美子委員、⑤呉屋美奈子委員、⑥安里恒男委員、
⑦平井りい子委員、⑧又吉浩委員、⑨田中洋人委員

傍聴者 : なし

次第

1 開会

2 館長あいさつ及び委嘱状交付式

- ・会長、副会長の選任
- ・会長挨拶

3 議事

4 委員の皆様から図書館へのご提言

5 閉会

〈議事内容〉

新垣館長より挨拶及び委嘱状交付式を行い、その後、会長に望月委員、副会長に豊見山委員が選任された。

望月会長の進行により下記の 3 つの議事について事務局の説明及び委員からの質疑応答を行った。議事における発言要旨は以下のとおり。

〈議事①県立図書館の概要説明、館内視察について〉

〈事務局より議題①について説明、館内視察（2 階貴重資料書庫及び郷土資料室）〉

時間がなかったため、会議終了後に他の箇所の視察希望者を受付。

〈議事②図書館評価指標に基づく図書館評価について〉

〈事務局より議事②について説明〉

委員

具体的な指標がありますが、すべて定数というか数値（定量）目標になっている。利用者の満足度やどういった本が欲しいのかが見えないので、定性的な指標もあった方がいいのではないかと。

新しい図書館になるので満足度調査等のアンケートを実施し、リニューアル時の参考にしてレイアウト等を進めたらいいと思います。前にイギリスで勉強していた頃は大英図書館の会員だったことがあります。大英図書館は、いろいろな人が自由に入ることが出来て、勉強や打ち合わせをしたりすることが出来ます。また、飲食できるコーナーもあり、知の拠点として総合的な環境があります。来週からロンドンに行く予定なので、見て来てフィードバックできたらと思っています。

事務局

今回の指標は平成 28・29 年度です。これから新県立図書館に向けて指標を見直していきます。先程の定性的な指標を取り込む意見も参考にさせて頂きたいと思っています。

委員

平成30年度から新県立図書館に移転していく。5年間の19の指標がありますが、移転場所が旭橋の近くですので、現在の図書館運営とだいぶ変わると思います。しかし、この部分は外せない部分と向こうに移転することによって、人の流れが変化します。さきほど一番最初に望月会長からありました、情報のあり方や本質的なものがどうあるべきか等ありますが、今、指標の見直しをしている最中だと思いますが、平成30年度に移るための1つの考え方を今現在の考えでいいので、聞かせて下さい。

事務局

現在の図書館は寄宮にありますが、今度の移転先は旭町のバスターミナル跡地で、県庁やモノレール駅に近い場所に移りますので、今の利用者と移転後の利用者が異なると思います。これから指標等も検討していきます。今は単独館ですが、移転先では複合施設の中に入りますので、周りの施設と連携していく予定です。利用者層も考慮しながら、指標の設定をしていきたいと考えております。

委員

全体的には良い評価だと思います。1箇所だけ1という評価があります。総合評価の中にも関係機関、他団体機関との連携を強化することで充実しているということですが、1の沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数が減少していますが、これは何かあったんですか。

事務局

読書推進運動協議会ではスキルアップ研修等を行っています。平成27年度は保育園の子ども達を招待して、秋山先生の講演会等を2回行いました。その時の参加者（子ども達を含めて）は130人くらい集まりました。平成28年度は、佐渡山先生の講演を行いました。この講演は大人向けの講演のため参加人数が前年度より少なくなっています。内容的なものでなくて、参加対象者枠が変わることで人数が減少し評価が下がっています。

委員

私も評価1のところは目に留まりましたが、同じようにその2つ上の指標ですが、研修会を増やすことは良いことだと思いますが、目標を高く設定したために数字上の目標を達成できなかったとありますが、評価は目につきますので、内部評価の中で説明をしっかりと、うまく表現できればと思いました。

委員

数字だけでは、見えるところと見えないところがあるので、その辺も考慮して評価していければ、いいかと思います。他にも評価の低いところがありますが、最初に設定した目標に対しての状況がどうだったのかで、評価されてしまっていますが、その評価の背景を共有できれば適切な外部評価が出来ると思います。

他に補足等があれば事務局から説明をお願いします。

事務局

琉球・沖縄関係資料の中核的な図書館の中で、郷土資料コレクションの形成が2になっていますが、平成28年度は市町村観光協会・商工会・小中高校等が発行している記念誌を中心に積極的に収集しましたが、結果として前年度を下回り、目標値を達成することが出来ませんでした。郷土資料の受入冊数ですが、購入も含めてなので、年度によっては出版数も違ってきます。個人や団体の方から、図書館の方に寄贈を頂いていますが、個人で大量に寄贈する年もあり、変動があるため今回は2になっています。

委員

今、話のあった郷土資料ですが、小中学校の記念誌等がありましたが、実際、校長をしていて記念誌等を寄贈することは思いも浮かばなかった。県PTA連合会の副会長をしていてPTAの研修大会等を毎年行っていますが、PTA研修大会資料もありましたが、こういう資料も寄贈していいというのは初耳でした。こういった記念誌等の寄贈の受入について周知をすると、かなり集まるのではないかと思います。字史については図書館の閲覧室の棚にはなかったのですが、私の赴任していた学校のある地域でも字史を作成しています。たぶん、公民館の館長に周知や館内案内等をすることによって、多く集まるのではないかと思います。新しい図書館が出来る前に集めることによって、配架の方もうまくいくのではないかと思います。

事務局

字史ですが、2階の郷土資料室の開架書庫には5万5千冊くらいありますが、1冊しかない字史はバックヤードの書庫の方に保管しております。なお、各市町村の図書館等や公民館や自治会の方を通して、寄贈のお願いをしております。また、学校関係の記念誌等に関しては、学校要覧等は、100年後には、当時の学校で、どうゆうカリキュラムで教えていたか等の資料として頂きたいとの依頼をしておりますが、学校要覧には緊急連絡用の職員の電話番号や住所等が掲載されている場合もあり、個人情報的な資料があるので、提供出来ないということがあります。以前は、辺戸名高校の記念文集等もあり、そういう資料も頂けないかと話した際に、近年子供の誘拐などがあり、その子がどういうことに興味を持っていたとか、部活が遅い等の情報が含まれている場合もあり危ないので、そういった情報も出せない話をしていました。その辺が収集する場合に注意しなければいけないところだと思います。

委員

データの収集方法ですが、入館者数等は、勉強やただ涼みに来ている方もいると思いますが、図書館カードで出入りする時にスワイプしたり、もしくは入る時に受付をしてもらうなど、その方法が良いかどうか別にして、データを取る等のやり方もあるのではと思いました。貸出冊数ですが、どのような本が借りられているのか、人気があるとかのデータは取られていますか。そういったデータを取ることで、購入資料の参考になると思います。すごく便利なところに移転しますので、いろんな利用者が増えると思いますので、そういったデータも利用しながら選書すると利用者も増えるし、いろんな活用の仕方が考えられるのではないかと思います。

委員

今の話は新館に向けて、あらたな評価指標を作成する際に検討して頂くということでよろしいですか。

委員

はい

次の議題

〈議事③図書館イメージキャラクターについて〉

〈事務局より議事③について説明〉

委員

今回、イラストとキャラクター名を同時に募集していますが、イラストが作成出来る人と、ネーミングセンスがある人は別であると思います。キャラクターのイメージにあった名前が付いてくることが想像できないので、別に募集した方がいいと思います。

例えば、キャラクターを決定して、開館に向けて名前の募集をすると、開館のイベントを大きく出来るのではないかと思います。いかがでしょうか。

委員

作者にもよりますが、このキャラクターは、この名前でないと思ってしまう方がいます。

委員

例えば、名前だけが、他のキャラクターと同じになる場合が十分考えられると思います。

委員

キャラクターの作者に、名前を変えて良いか、最初に連絡しておいてはどうか。

委員

募集要項の記載について、キャラクターのデザインや名前の修正もありますよとの了解をしたうえで募集するのか、または、募集の段階で分けるのか。

事務局としては、キャラクターを前倒しで募集してから、公表して名前の募集をするとなると、期日的には無理があるということでしょうか。

事務局

呉屋委員のデザインとネーミングを分けて募集するご意見ですが、キャラクターを選定し、新館の印刷物等に使用することを考えております。年度内に分けて募集をするのは、時期的に難しいと考えます。

委員

イラストはいいけど、名前がもったいないという場合は、確かにあります。

事務局

キャラクターを作成する方の思いもありますし、あとは採用される時に事前に連絡をして、ネーミング等を調整して頂く方法も検討したいと思います。募集要項についても今のところは案の状態ですので、何かご意見等あればと思っております。さきほど、別々に募集というご意見がありましたが、次年度は移転作業もあり、業務が煩雑になることが予想されます。他県の例ですと、キャラクターと名前を同時に募集しているところもありましたので、参考にさせて頂きました。

委員

募集要項について委員の方から意見がある場合には、一週間以内に、連絡して頂ければということですね。

事務局

そうですね。電話でもいいですので、また皆様の方にメール等でご連絡いたします。

委員

募集要項のスペースは限られていると思いますが、子供たちに配布する時に、イメージを膨らます為に、写真等があるとさらに、良いイメージがわいてくると思います。

事務局

ホームページ上では、バスターミナル跡地に予定されています県立図書館の外観を添付する予定です。

委員

分かりました。

委員

キャラクターデザインの募集をすると似たようなキャラクターが来ることがあって、これをどう見分けていくのかなと思います。前回、南城市のキャラクターを審査したことがありますが、類似品がないか調べる業者さんをお願いをして、それでOKなら、決まりという流れでした。こちらのキャラクターは最終的にはどういう風にチェックをしますか。

委員

事務局としては選定したあとの審査体制はどのように考えていますか。

委員

選定後にネット等で、どこどこのキャラクターと似ているとか、そういう話があります。

事務局

県立博物館・美術館に事務手続きの仕方やチェックの仕方について情報収集して、選考の段階までには審査体制を決定したいと思います。又吉先生にもご指導頂きたいと思っております。

委員

集まった段階で、情報収集しながら検討していくということですね。

委員

提案ですが、イメージキャラクターを使用して、しおりやファイルを作成する場合に予算は限られていると思いますので、県内の会社に広告を出させて、いろんなところに配布したらいいと思います。ぜひ、民間を使って広告を入れて、経費を浮かしたらいいかなと思います。そしたら、いっぱい作れて多くの方に配布出来ると思います。

委員

キャラクターが決まった後に、検討してみてはどうかという意見ですね。

委員

議題以外に、ご提案等がありましたらお願いします。

委員

新館が平成30年度にオープンします。来年の9月に建物は完成するとのことですが、その際に県立図書館の休館情報や引っ越しに伴い、市町村への協力体制や出来なくなるサービス等の周知などは、いつ頃から行いますか。

事務局

休館の周知については、新館の開館周知と一緒にするかと思いますが、時期的なことについては、まだ明確には申し上げられないですが、市町村の対応もごさいますので、早めに周知はしていきたいと考えております。関係課等と調整を進めているところであります。

委員

移転のスケジュール等については、相互貸借等で県立図書館に頼っているところがあると思いますので、早めの周知をよろしくお願いします。

委員

那覇国際高校ですが、県立図書館から120冊借りておりますが、小中と比べて、高等学校は県立図書館との連携が弱いと思っておりますが、高等学校への貸出等はどのくらいありますか。または何校くらいが利用しているのか、分かっていたら教えて欲しいのですが。

事務局

要覧に一括貸出の団体数や回数があります。136団体、286回、34, 433冊

委員

定例の校長会等もありますので、利用されているのかも含めて協力できるところは周知していきたいと思えます。

事務局

司書等の研修会では、県立図書館の取組について担当の方から説明しておりますが、校長会等でも一括貸出等の説明をする機会がありましたら、よろしく願いいたします。

委員

さまざまな情報を頂いて本当に勉強になりました。さすが、県立の図書館だと思いました。107才、すごいと思いました。平成30年度からリニューアルするということで、これは僕の個人的な希望ですが、先程委員の方がおっしゃっていましたが、利用者の満足度は外せないと思います。これまで、35万人、駐車台数59台しか停められなかったのが、モノレールと連結してくるので、多分62万人を目指して行くのではないかと思います。知の拠点ということで情報収集も大事ですが、個人的には観光とか関係機関とリンクして更に沖縄のよさをアピールするグッドタイミングだと思いますので、観光のセクションとリンクするとか、例えば、沖縄の文学賞とかもありますので、そういった関係機関とリンクして、そこが各県から来館したときに非常に重要なポジションだと思います。そのために外せないのはレファレンスだと思います。つまり、県外から来た人がいろんなものを調べるのに、「5階にいくとこれがあるよ」とか、そのままモノレールに乗って図書館に行こうよというところで、すごく夢が広がるし、キャラクターもすごく夢がある話だと思って、ますます沖縄県の図書館をリード出来るような県立図書館であって欲しいという希望です。

委員

補足ですが、特にモノレールがあって海外からの観光客等も直接来館できるし、県立図書館の冊子の中にも万国津梁で東南アジアの資料を設置するとありました。新館ではバイリンガルにする必要があると思いますので、せめて、英語が出来る関係者を配置すれば、先程おっしゃったように、タイからも日曜日に来館するとのことですけれども、そういったようにどんどん来て、沖縄が世界やアジアに発信していくいいチャンスだと思います。ぜひ、多言語に対応出来るような体制を検討されたらいいと思います。そしたら、もっともっと情報発信出来ますし、情報も集まってくると思います。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。ただいまの観光施設との連携という話もございました。ビルには観光関連の施設も2階の方に出来る予定です。そして、就労関係でグッジョブセンターも入りますので、観光関連の連携であったり、就職等課題解決支援のいろんな関わりもできて、いろいろな取組が出来ると思います。移民関係資料や外国の資料の収集も図っていきたいと考えておりますので、いろんな方面から利用しやすい国際性豊かな図書館づくりを目指していきます。さきほど、英語の話せる職員とありましたが、図書館としても必要性を感じておりますので、関係課と調整していきたいと考えております。

委員

その他、ご意見はよろしいでしょうか。

委員

同じ事にはなるんですが、利用者や貸出冊数もそうですが、それに見合った人員配置や予算措置だったり大切なことだと思いますので、この協議会からもそういう意見というか、そういう事も行政側への意見として出していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員

活発なご提言ありがとうございました。これをもちまして本日の議事を終了いたします。